JA 0103055 AUG 1979

# BEST AVAILABLE COPY

(54) SPECTROMETER

(11) Kokai No. <u>54-103055</u> (43) <u>8.14.1979</u> (19) JP (21) Appl. No. <u>53-8873</u> (22) 1.31.1978

(22) 1.31.1978

(71) NIPPON DENSHIN DENWA KOSHA (72) KIYOSHI NOSU(2)

(52) JPC: 104A0;104G0

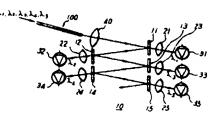
(51) Int. Cl<sup>2</sup>. G02B5/14,G02B27/10

PURPOSE: To make it possible to analyze and combine lights of multiple wavelengthes without any close control by arranging a plurality of filters, which have dif-

of the multiple wavelengthes.

CONSTITUTION: Optical signal waves composed of different wavelengthes  $\lambda_1$ ,  $\lambda_2$ . λ<sub>3</sub>, λ<sub>4</sub> and λ<sub>5</sub> are emitted from a fiber 100 and converted by a colimating lens 40 into parallel beams, which enter an optical filter 11. In accordance with the characteristics of the filter 11, the signal waves of the wavelength  $\lambda_1$  are allowed to pass through the filter 11 and are gathered in a photoelectric converting element 31 by a condensing lens 21 so that the signal waves of other wavelengthes are reflected to enter an optical filter 12. The signal waves of the wavelength 1, are allowed to pass through the filer 12 whereas the others are reflected to enter an optical filter 13. Likewise, sequential separations are accomplished so that the signal wavelengthes of the wavelengthes  $\lambda_2$ ,  $\lambda_3$  and so on are sequentially gathered at other photoelectric converting elements 32, 33 and so on. In the case of spectroscopy, the characteristics of the respective filters can be independently adjusted, and the size can slso be reduced with ease.

Muy Filter



## (9日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

## ⑩公開特許公報 (A)

昭54—103055

Mint. Cl.2 G 02 B 5/14 G 02 B 27/10 識別記号 **②日本分類** 104 A 0 104 G 0

庁内整理番号 7244-2H

砂公開 昭和54年(1979)8月14日

7448-2H

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

### **②光分波器**

20特

昭53-8873

20出

同

藍 昭53(1978)1月31日

の発 明 野須潔 者

> 模須賀市武1丁目2356番地 日 本電信電話公社横須賀電気通信

研究所内

石尾秀樹

横須賀市武1丁目2356番地 日 本電信電話公社横須賀電気通信 研究所内

⑫発 明 者 三木哲也

> 横須賀市武1.丁目2356番地 日 本電信電話公社横須賀電気通信

研究所内

包出 人 日本電信電話公社 人 弁理士 山本恵一 10代 理

1. 発明の名称

光疗坡器

2. 特許請求の範囲

特定の波径の光を透過させ他の放長の光を反射 させる少なくとも1個のフィルタと、験フィルタ を光を順次反射可能なごとく配置した配列と、 第 1のフィルタに光ビームを斜めに入材させる手段 と、各フィルタの遺母光を受容する手段とを有し 各フィルタの透過波浸がフィルタ毎に相互に異な るととを特徴とする光子復程。

3 発明の診測を提明

本発明は、光学機器における分光度いは、複数 の被長の光信号を多道伝送する放長分割多遺伝送 方式における光度号の暗介又は、分離などに用い る光分液器に関するものである。

従来、干砂膜フィルタを利用した光分波器の一 形式として、内部下渉疫を存する集束性ロッドン ンズがあった。これは、第1図に示すよりに、二 つの集点性ロッドレンズ1、2の間に、干多膜3 をはさんだ構造になっている。集束性ロッドレン メ1、2点。レンス作用を持ち、レンス内に入財 した光は、集束性ロッドレンズ内を蛇行して進む。 分波器として用いる場合。 集束性ロッドレンズ i. 2の長さは、光ピームの蛇行ピッチの約1/4 に 進ばれる。干渉膜3は、勝端体多層機による皮長 依存性反射腹で、反射率及び透過率が光の放展で 温たる。

光ファイバ 100 に異なるこつの皮長 スィ、ススの信 身が導かれ、とれを異なる位置に分波する場合を 説明する。ファイバ 100 から出射したこつの異な る夜長の光信号彼は蛇行しながら、 集束性コッド レンヌ 1 内を伝搬し、干渉膜 3 に入射する・干渉 膜3は、旋長斗の光信母旋を反射し、疲長斗。の光 信号波を透過する。波長礼の光信号波は、反射さ れて光ファイバ 101に入射する。被長 4.の光信号 成は。 集束性ロッドレンズ 2 内を伝搬し、光ファ イバ 102に入射する、したがって、放浸の異なる 二つの 光貨号波を分離できる。干参膜 3 の分波符 性は、ファイバ100の位置をで失せる。分皮され

٠n

15

10

#### 特限昭54-103055(2)

た信号板を受けるファイバ 101,102 の位置 6.7 もファイバ 100 の位置 5 で決まる。従って、 F 歩模3 の分放等性と、 受信用ファイバ 101,102 の位置を確立に調整することはできない。

従って本名明は従来の技術の上記欠点を改善するもので、その目的は销售を制御なしに多数の改 長の光を分波又は結合することの出来る光分酸器 を提供することにあり、その特徴は、フィルター 列により多数の改長の信号波の分離もしくは多値 を行なう光分成器にある、以下図面により準細に 説明する。

第3 翌は、本発明の分波器10の 実施例である。 11, 12, 13, 14, 15 以干渉膜フィルタ、21, 22,

に入射する。光フィルタ 11 を透過した被長 Aの光信号改は、 展光レンズ 31 で光電変換器子 31 に展められる、一方元フィルタ 12 に入射した光 ビームうちで、 液長 A の光信号 成のみ 透減し、 製 光レンズ 22 で、光電変換器子 32 に集められ、 地の改長の光信号設計及付きれて、 モフィルタ13 他の改長の光信号設計なる。 以下回療にして光フィルタにより傾に入射する。 以下回療にして光フィルタにより、 更に通過波を 場がほ なるアイルタ に 並べることにより、 更に多くの光温号 皮 な 分成できることに、 もちろんである

第1回は北合政器10 の側を立している。 智寺 七歳3 1/3 2/3 3/3 4/3 5/4、各々、改展 4/4を 4/4、4/4の当号光景であり、コリメートレンス 2 1/2 2/2 3/2 4/2 5/4、信号光漢の光を平行ビ ームにするコリメートレンズであり、東北レンズ 10/4、各次長の光均号波をファイバ100に結合 ではあるこの場合、次長と、の光匀号波は光フィル メ 1 1 を通過し、集光レンズ 1 0/で場められ、ファイバ100に導入される。 次長 2,0 元信号波は光 23、24、25 は無光用レンズ、31、32、33、34、35 は光電変換名子、40 は、コリメートレンズである。光フィルタ11、13、15 から成るフィルタ側は、光フィルタ12、14 から成るフィルタ側に対して平行に並んでいるものとする。光フィルタ側に対して平行に並んでいるものとする。光フィルタ間には、分枝される光信号及の内で、放長点の光信時度の内で、放長点の光信時度の内で、放長点の光信時度の大変が表現する。以下に通過で表現なる複数個のフィルタを列状に述べて多数の改異なる複数個のフィルタを列状に述べて多数の改異なる複数の方式を行るものである。以下に本分枝深の動作展理を説明する。

いま、異なる皮長 A<sub>1</sub>、A<sub>2</sub>、A<sub>3</sub>、A<sub>4</sub>、A<sub>3</sub>から成る光 は号波が、ファイバ 100 から出射され、コリメートレンズ 40 で平行ビームに直され、モフィレタ 11 に入射するとする。光フィルタ 11 の特性から、皮長 A<sub>1</sub>の光信号波は光フィルタ 11 を透透し、他の皮長の光信号波は、反射され光フィルタ 12

フィルタ 12 を通過し、光フィルタ 11 で反射し 集光レンズ 10<sup>4</sup> で集められ、ファイバ 100に導入 される、以下側頭にして、 皮及 l<sub>1</sub>, l<sub>2</sub>, の光に ファイバ 100 に結合される。

第5 図は、個々のフィルタを一直線上に並べたいで、角度を付けて並べたもので、分及今成が、第3 図及び第1 図の例と同様に行なり事が出来る。 以上説明したように、本発明によれば改長が異なる多数の光信号を含度したり分離する分成器を構成する際:

- (4) 例でのフィルタ特性を地立に調整できる。 すなわち、分及する場合、フィキタへの北信 号級の入射角と受信用光電変換を予(合成の 場合は信号光層)の位置を独立に調整できる。 (2) 小形化が容易である。
- (3) 集派性ロッドレンズを用いた光分改器よりも、個々の部島の特定、部店間の気優特度に カナる許等度が大きい。

という列皮がある。

1. 図面の簡単を説明

\_

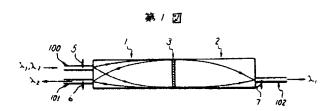
10

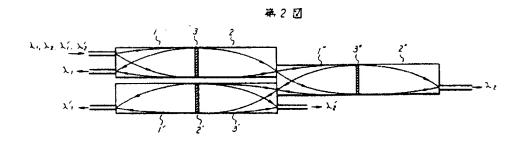
::)

特開昭54-103055(3)

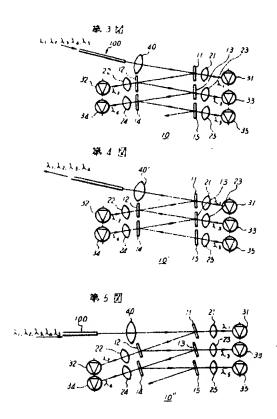
第1回は、従来の集皮形ロッドレンズを用いた 二成用分成器の構成図。第2回は、従来の集皮形 ロッドレンズを用いた四級用分成器の構成図。第 3回は、本発明の分波器の一実施例、第4回は本 発明の分波器の一実施例。第5回は本発明の分波 器の別の構造例である。

等許出順人 日本電信電話公社 等許出顕代職人 弁理士 山 本 恵 一





### 特開昭54-103055(4)



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.